

2021年2月3日

各位

会社名 一般社団法人 DSTO
代表理事 東門 篤

「PocketSwap(ポケットスワップ)」の ベータ版のローンチ開始

当法人が開発する「Pocket Swap(ポケットスワップ)」は、独自仮想通貨(トークン) DSTO と仮想通貨イーサリアム(ETH)を Pool(プール)に預けることによって、報酬を獲得することが可能な DEX(分散型取引所)「Pocket Swap」(<https://pocket-swap.com/>)のベータ版を2月1日から順次開始することを発表致します。

Pocket Swap(ポケットスワップ)は、3月1日に予定している Pocket Swap(DEX)取引開始に向け、これまでの DeFi(分散型金融)市場で大きな盛り上がりを見せた「流動性マイニング」を取り入れた最新の DEX として開発を進めております。

Pocket Swap の流動性マイニング

ベータ版としてローンチされた Pocket Swap(ポケットスワップ)の流動性マイニングは、独自通貨 DSTO とイーサリアム(ETH)を「1:1」で同プラットフォーム上の「Pool(プール)」に預けることで、既に Binance(バイナンス)や Huobi Global(フオビ)、Coinbase(コインベース)などに上場している IPFS 技術を基盤とした仮想通貨ファイルコイン(Filecoin / FIL)を流動性マイニングの報酬として獲得することができます。

ファイルコイン(FIL)を獲得できる流動性マイニングの開始も、Pocket Swap(ポケットスワップ)の取引開始に合わせてローンチする予定です。

ファイルコイン(Filecoin / FIL)について

流動性マイニングで貰えるファイルコイン(Filecoin / FIL)は、インターネット社会が抱えるデータセンター&ビッグデータの問題を解決されるために生まれた Web3.0 時代

の中核技術と呼ばれる「IPFS (Interplanetary File System)」を基盤としたプロジェクトのネイティブトークンです。

この IPFS 技術は、昨今の無料動画コンテンツや SNS、e コマースなどのサービス普及により、使用されるデータ量が急激に増加していることを受けて開発された分散技術のひとつです。これらのデータは現在、大手企業が大量の資金を投じて、それらのデータや情報を処理しているものの、データは拡大の一途を辿っています。そんなデータセンター市場を、IPFS 技術とファイルコインプロジェクトを開発・運営する Protocol Labs (プロトコル・ラボ) 社が仮想通貨を活用して、データ問題の解決を目指しています。

流動性マイニングで配布するファイルコイン (FIL) は、Pocket Swap (ポケットスワップ) 運営が保有するファイルコインマイニングマシンによって採掘された FIL トークンが配布されるため、取引所などの上場価格に左右されることなく準備することが可能です。そのため、Pocket Swap (ポケットスワップ) で流動性マイニングを開始した翌日から、報酬の FIL を誰でも毎日、受け取ることが可能となります。

ロードマップ(予定)

- **2021.2.1**
 - ・Pocket Swap (DEX) ベータ版開始
- **2021.3.1**
 - ・Pocket Swap (DEX) 取引開始
 - ・ユーザー間取引開始
 - ・Pool ユーザーの FIL 報酬計算開始